

# 手ぬぐいの魅力を伝える

## Fascination of Tenugui

グループ名：八王子土産

大矢 晃輔<sup>1)</sup>, 瀧川 早月<sup>2)</sup>

指導教員 李 盛姫<sup>1)</sup>, 西野 隆司<sup>2)</sup>

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

2) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 価値創造研究室

キーワード：八王子市, 土産, 手ぬぐい

### 1. 研究背景・動機

授業で八王子市学園都市文化ふれあい財団（以下、財団）との官学協同課題として八王子まつりで使われる手ぬぐいデザインを提案した。その調査の過程で八王子市の歴史や文化を知り、手ぬぐいの魅力を知ったことから本研究を行うことにした。本研究を通して手ぬぐいの魅力を伝える。また、八王子市の文化や歴史を継承し地域発展を目指したい。

### 2. 調査

#### 2-1 意識調査

まず、手ぬぐいについての認知度を測るために男女、その他 16～58 歳の 44 人に意識調査（アンケート）を行った結果、「手ぬぐいを使ったことがある」と答えた人が 60%だった。しかし、「使い方を知っていますか？」と言う質問をしたところ、「知っている」と「知らない」と答えた人が半数だった。「知っている」と答えた人にはその使い方について聞いたところ、「頭に巻く、汗を拭う、お弁当を包む」などの使い方が多かった。

次に、ハンカチについての調査を行ったところ、ハンカチはポケットの中に入れたり、カバンの中に直接入れて持ち歩くケースが一般的で、その中でも 40%程が濡れたハンカチをカバンやポケットにそのまま入れるのは抵抗があると答えた。

#### 2-2 手ぬぐいの特徴

手ぬぐいは、木綿から作られている平織の布のことである。サイズは900×350mmのものが主流で、染め方は注染と捺染があり、両面が切りっぱなしのため、ほつれてしまったら自分で切って使うことが可能である。使えば使うほど生地が柔らかくなり、吸水性も高まるのが特徴といえる。

#### 2-3 商品パッケージデザインの調査(大矢)

商品パッケージは消費者の注意や興味を引き、商品購入の動機付けを促す効果がある。購入後の満足度が高ければリピート購入にもつながり、更には、商品価値を高めてブランドイメージを定着させることも期待できる。

#### 2-4 財団の方にヒアリング調査

調査を行った結果、まず八王子まつりでの手ぬぐいの購買層は高年齢の方で、買う人はいるが売れ残りを抱えていることがわかった。次に、現在の手ぬぐいの販売形態について聞いたところ、値段は1枚600円程度、簡易的な帯はあるものの、手ぬぐいの魅力が伝わるものではなかった。調査から、若者は手ぬぐいに興味を持っていることがわかったが売れていない。パッケージはとても大事なのに疎かにしているようなことがわかった。

### 3. アイデア展開

#### 3-1 ターゲット

大矢は官学協同課題の調査の過程で手ぬぐいがとても魅力的なものだと知った。そこで手ぬぐいの魅力を私と同じ世代の若者にも知ってもらいたいと考え、若者(10代後半～20代)をターゲットに設定した。

瀧川は財団へのヒアリングで、幅広い年代に地元に戻ってきてもらいたい声を受け、30代～50代の幅広い年代をターゲットとする。

#### 3-2 提案物

大矢は手ぬぐいのパッケージとなる帯のデザインと手ぬぐいの使い方が書いてあるマニュアルの2つを提案。販売場所は八王子まつりを想定。1つ目の帯のデザインは、どの年代にも人気がある和柄のデザインやターゲットである若者に人気のデザインを考える。2つ目の手ぬぐいの使い方マニュアルはアンケートの結果から、使ったことはあるが使い方がわからない人が半数もいたため、帯の裏側に載せる。手ぬぐいを販売する場所を八王子まつりに想定したため、マニュアルの内容をまつりで使用する使い方をメインに、普段使える使い方、非常時、緊急時の使い方など、多様な使い方を載せる。他にも手ぬぐいの豆知識や生地について、八王子の歴史なども載せる。



図 1. 帯のデザイン試作

瀧川はポケットやカバンに湿ったハンカチを入れておくと不快感があることと、雑菌が繁殖する原因となってしまうことを解決したい。そこで切りっぱなしになっていることで乾きやすく衛生的にも良い手ぬぐいをおしゃれとして使われているスカーフのような形にしてカバンに垂らしておく

ことで、外の空気に常に触れていることからより乾きやすく衛生的にも良く、おしゃれとしても使える手ぬぐいを提案することにした。デザインは、八王子市のお土産としてのデザインと、既存のスカーフのデザインなどを参考にしたデザイン展開したいと考えている。



図 2. 長方形試作



図 3. スクエア試作

### 4. 今後の展開

大矢はまつりに合った使い方の考案、まつり会場以外の場所でも売れるような帯のデザインを提案する。さらに使い方が書いてあるウェブページの制作をする。

瀧川は晒をスカーフの一般的な形にカットしカバンなどにつけ、実際にハンカチとして使えるのか検証した結果から形状を再考、試作制作をする。また、染め方などの決定をする。

#### 参考文献

- [1]手ぬぐいとは？歴史や魅力、便利な使い方をご紹介：ワゴコロ、  
<https://wa-gokoro.jp/traditional-crafts/706/>、  
2022年10月3日
- [2]堀川千夏(2010)「商品パッケージにおけるデザイン戦略のための評価手法」『経営情報研究』第19巻,2号